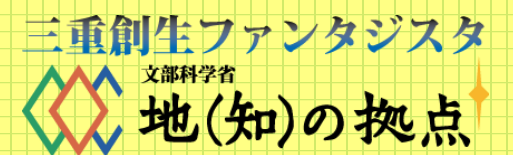


2019年度 現代社会理解実践 「地域発見型インターン」



地域発見型インターンは、三重創生ファンタジスタ資格対象科目（地域実践交流科目群）であり、インターンシップも体験できるプログラムです。行政や地域に貢献する仕事に関心のある方にはオススメの内容ですので、是非ご参加・履修してください。

対象学年：全学年

開講時期：前期集中

担当教員：東大史、鈴木幸子、織田拓、鬼頭浩文（四日市大学）

授業日：5/18(土)、6/1(土)、8月中（各企業・団体と調整）、9/6(金)

開講場所：三重大学、インターン先企業・団体等

授業形態：現地学習（2単位）

採点方法：事前・事後レポート、学習態度

備考：学外学習のため、保険に加入する必要有



1959年に発災した伊勢湾台風から60年、三重県を含む東海エリアでは南海トラフ地震による大津波や、局地的集中豪雨に対する地域防災の取組を推進していくことが求められています。行政による防災計画のみならず、民間企業や地域住民が参画し、いかに“想定外”を減らしていくかが問われています。

地域発見型インターンでは行政が策定した防災計画を踏まえ、実際に各地域に立地する企業と協働して災害備蓄や避難経路の確認、高齢者や障がい者等の生活弱者支援体制の検討といった内容を学びます。



【授業内容】

5月18日(土)10:00-17:00 事前学習

午前中は三重大学で実施予定のJobキャラバンに参加し、各企業や行政で働く社会人から地域で働くことや仕事のやりがい、選び方のポイントなどを伺います。午後からは1959年に発生した伊勢湾台風の三重県内各地における被害や、そこからの復興と現在取り組まれている防災対策、また2011年東日本大震災における津波被害や南海トラフ地震での津波被害予測などを学びます。

6月1日(土)13:00-17:00 事前学習 (2回目)

県内の地域防災の第一人者である、四日市大学総合政策学部鬼頭浩文教授より、四日市市をはじめとした行政の防災計画と地域に立地する企業との災害防止協定、東日本大震災復興支援の取組など包括的な内容を講義していただきます。また四日市大学で開講している防災士認定の講座についてもご案内いただきます。

8月(夏休み期間) 終日 現地学習 (計4回実施・最低2回参加)

午前中に行政の防災計画をヒアリングし、実際に各地の防災対策の現場を見学する機会を設けます。午後には地域に立地する企業において、災害備蓄や避難訓練の実施といった対策をヒアリングし、行政の計画と連携する方法を検討します。

<行程表 (例) >

8:00 集合

8:00-9:00 車中でオリエンテーション

9:00 伊勢市防災センター到着

9:00-11:30 行政の防災計画に関するヒアリング

11:30-12:30 グループワーク

12:30-13:30 昼食・移動

13:30 マスヤグループ本社到着

13:30-15:00 備蓄、避難計画に関するヒアリング

15:00-17:00 グループワーク・地域防災に関する提案

17:00-18:00 移動・車内にて振り返り

18:00 解散

9月6日(金)13:00-17:00 事後学習

現地学習を踏まえ、自分が地域防災について学んだことや行政、企業、地域住民の連携について事後レポートをまとめます。

